名前（　　）　日付　　月　　日

公民 国際社会 国連 平和 国際協力

問 1　国際社会と共通のルール

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　他国から独立し、国内を統治する主権を持つ国家を何というか。	
(2)　国家の主権が及ぶ、領土・領海・領空をまとめて何というか。	
(3)　各国の主権が、面積や人口などに関係なく対等である原則は何か。	
(4)　国と国との関係を定める、条約や国際慣習に基づく法は何か。	
(5)　国と国などの間で結ばれる、国際法上の合意を何というか。	
(6)　国家間の争いを国際法に基づいて裁く、国連の主要な司法機関は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

国境を越えて起こる問題を解決するために、国際法や条約が必要とされるのはなぜか。各国が主権を持つことと、共通のルールの役割から説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 国際社会 国連 平和 国際協力

問 2　国連の仕組みと意思決定

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　1945 年に設立され、国際の平和と安全などを目指す組織は何か。	
(2)　国連の目的・原則・組織などを定めた基本文書は何か。	
(3)　全加盟国が参加し、原則 1 国 1 票で話し合う国連の機関は何か。	
(4)　国際の平和と安全の維持に主要な責任を負う、国連の機関は何か。	
(5)　安全保障理事会で、任期を定めず議席を持つ 5 か国を何というか。	
(6)　手続事項以外の決議案を、常任理事国が反対して阻止する権限は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

安全保障理事会で、手続事項以外の決議案に 9 か国以上が賛成しても、成立しないことがあるのはなぜか。常任理事国の権限から説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 国際社会 国連 平和 国際協力

問 3　国連に関わる主な機関

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　世界遺産の保護などを行う、国連教育科学文化機関の略称は何か。	
(2)　子どもの保健や教育などを支援する、国連児童基金の略称は何か。	
(3)　難民の保護を担う、国連難民高等弁務官事務所の略称は何か。	
(4)　国際的な保健衛生を担う、世界保健機関の略称は何か。	
(5)　地球環境問題に関する国際協力を進める、国連環境計画の略称は何か。	
(6)　貧困削減や開発途上国の発展を支援する、国連開発計画の略称は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

国際協力で、食料や医療の支援に加えて、学校づくりや教育の支援が重視されるのはなぜか。支援を受ける人々の将来の生活や自立と結び付けて説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 国際社会 国連 平和 国際協力

問 4　平和を守る取り組み

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　侵略国に対し、多くの国が協力して制裁などを行う仕組みは何か。	
(2)　停戦監視などで紛争地域の平和を支える、国連の活動は何か。	
(3)　軍備を縮小・制限し、国際的な緊張を和らげる取り組みは何か。	
(4)　核不拡散・核軍縮・原子力の平和利用を柱とする条約は何か。	
(5)　核兵器の開発・保有・使用などを締約国に全面禁止する条約は何か。	
(6)　核兵器を持たず、作らず、持ち込ませないという日本の方針は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

核兵器の削減や廃絶に向けて、条約に加え、約束が守られているかを確かめる仕組みも必要なのはなぜか。国同士の不信感と、安全の確保に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 国際社会 国連 平和 国際協力

問 5　国際協力と人間の安全保障

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　開発途上国の発展などを目的に、政府や政府機関が行う援助は何か。	
(2)　日本の ODA で技術協力などを担う、国際協力機構の略称は何か。	
(3)　国際協力などを行う民間の非政府組織の、英字 3 文字の略称は何か。	
(4)　一人ひとりの命・生活・尊厳を、恐怖や欠乏から守る考え方は何か。	
(5)　迫害のおそれで帰国できず、国外で保護を必要とする人々は何か。	
(6)　2030 年を期限とする「持続可能な開発目標」の略称は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

国際協力で支援の方法を決めるとき、支援を受ける地域の人々の意見や文化を尊重し、参加を求めることが大切なのはなぜか。地域の実情と、支援が終わった後の生活に着目して説明しなさい。

公民 国際社会 国連 平和 国際協力の解答

記述は解答例です。同じ内容が表されていれば、表現が異なっても正解とします。

問 1　国際社会と共通のルール

(1) 主権国家　(2) 領域　(3) 主権平等
(4) 国際法　(5) 条約　(6) 国際司法裁判所

記述例　主権を持つ国々が、共通のルールで利害を調整し、協力して問題を解決するため。

採点のポイント　主権を持つ国々の利害を、共通のルールで調整し協力すること。

補足　国家の三要素は国民・領域・主権。国際司法裁判所は ICJ でも可。

問 2　国連の仕組みと意思決定

(1) 国際連合　(2) 国際連合憲章　(3) 総会
(4) 安全保障理事会　(5) 常任理事国　(6) 拒否権

記述例　常任理事国が 1 か国でも反対すると、拒否権が働いて決議案の成立を阻止できるため。

採点のポイント　常任理事国の反対と、拒否権による決議案の不成立を結び付けている。

補足　常任理事国はアメリカ・イギリス・フランス・中国・ロシア。安保理は常任 5・非常任 10 の計 15 か国。

問 3　国連に関わる主な機関

(1) UNESCO　(2) UNICEF　(3) UNHCR
(4) WHO　(5) UNEP　(6) UNDP

記述例　教育で知識や技能を身に付け、仕事や収入を得る機会を広げて、将来の自立につなげるため。

採点のポイント　教育による知識・技能の習得を、仕事や生活の改善、自立につなげている。

補足　UNESCO と WHO は専門機関。UNICEF は基金、UNHCR は事務所、UNEP・UNDP は計画。

問 4　平和を守る取り組み

(1) 集団安全保障　(2) 国連平和維持活動　(3) 軍縮
(4) 核拡散防止条約　(5) 核兵器禁止条約　(6) 非核三原則

記述例　約束が守られていることを確認して不信感を減らし、軍備の競争を抑えて互いの安全を守るため。

採点のポイント　約束の履行の確認を、不信感の軽減や軍備の競争の抑制、安全の確保につなげている。

補足　国連平和維持活動は PKO でも可。核拡散防止条約は核兵器不拡散条約・核不拡散条約・NPT でも可。

問 5　国際協力と人間の安全保障

(1) 政府開発援助　(2) JICA　(3) NGO
(4) 人間の安全保障　(5) 難民　(6) SDGs

記述例　地域の実情に合う支援を行い、住民自身が支援後も生活の改善を続けられるようにするため。

採点のポイント　地域の実情に合った支援と、住民の参加による継続的な生活の改善を説明している。

補足　政府開発援助は ODA でも可。SDGs は、2030 年を期限とする 17 の目標。